

けんけん ほっとライン

せい ぎかい

これだけはおさえておきたい！ 県政 & 県議会の必見トピックス

2006.4

4つの **気** で頑張ります！ **元気！ 根気！ やる気！ 本気！**

ご挨拶

埼玉県議会議員 山川百合子

春、新学期・新年度をむかえ、新たなスタートの季節です。県でも予算が議会で承認され、新年度が始まりました。財政は依然厳しい状況が続

いていますが、困難な時にこそ、もてる資源を最大限に活かして、活力ある社会を築いていかなければなりません。地方自治の流れの中で、各自治体運営が市民生活に与える影響も大きくなり、議会の責任もさらに重くなります。民の活力を最大限に活かす仕組みづくりと、個々の能力と環境に応じた機会の平等、何度でも挑戦のできる社会を築いていきたいと思ひます。「現場主義」に立った制度づくり、政策提言をモットーに頑張っ

今年度は「安心・安全・元気予算！」

どのくらいの税金が県行政に使われているか、普段は意識することは少ないかもしれませんが、しかし、住民税だけを見ても、年収500万円のサラリーマン世帯（4人家族）の場合、平均約31,500円の県税を払っています。その他、様々な形で払っている税金が、県行政でどう使われているか、気になるところでしょう。ここではいくつかテーマを取り上げて、来年度どんな事業が行われるかをご紹介します！

予算の詳細は県のホームページでご覧いただけます。
<http://www.pref.saitama.lg.jp/A01/BH00/18yosan/index.html>

平成18年度

埼玉県一般会計予算

1兆6,381億5,200万円
（前年度比2.8%増）
* 県税収入は6,338億円

埼玉県全会計合計予算

2兆1,496億3,368万円
（前年度比2.5%増）



今後のイベント^他

議会報告

4月30日(日) 午後1:30～3:00
中央公民館講座室

市民塾

8月5日(土) 午後1:00～
アコス会議室 時間等が変更となる場合がありますので、事前に詳細をお問い合わせ下さい。

「2007年問題と地域」(仮題)

団塊の世代の退職者が地域に戻ってこられます。技術や経験、興味や趣味を活かし、どのように地域に関わっていくか、様々な立場の方にご参加いただきながら一緒に考えていきたいと思ひます。是非、ご参加下さい。

なんでも相談

毎月第2・第4水曜日
午後1:00～5:00

今、困ったり、悩んでいることはありませんか。家庭のこと、学校や職場での問題、友人関係の悩みなど、なんでもお気軽にご相談下さい。専門のカウンセラーがご相談に応じます。相談室：048-925-6863（詳細をご説明しますので事前にご連絡下さい。）

意見・ご要望をお寄せ下さい

メールや電話、ファックスにて、お気軽にご連絡下さい。

埼玉県議会議員 山川百合子事務所
〒340-0012 埼玉県草加市神明1-2-31
Tel: 048-927-0131 Fax: 048-927-0353
E-mail: info@yamakawa-yuriko.jp



若者の就業をサポートします！

県では若者の就職をサポートするために、2年前からヤングキャリアセンターを大宮に設置し、これまでに3,060人が就職をしています。今年度は新たに「若者自立支援センター(仮称)」を川口に設置します。ニート(就業、就学、職業訓練のいずれもしていない人)と呼ばれる若者の就業活動を総合的に支援するセンターとして、相談事業やセミナー・情報交換会なども行います。

詳しくは、山川百合子事務所までお問合せ下さい。

参考サイト <http://www.shigoto.pref.saitama.lg.jp/wakamono/>

県の取組みについては次ページをご覧ください

ホームページが
リニューアルオープン！

<http://yamakawa-yuriko.jp/>

4月20日





そうか！コラム

今回は
2005年度の取組みの一部をご紹介します



市民塾

市民塾とは

地方分権から地域主権へ。元気な地域社会を築いていくために、様々な地域や行政課題に市民が目を向け、市民の声を行政運営に活かしていく事が求められています。山川百合子と市民有志は、地域や行政の課題についての情報を市民の皆さんと共有し、それらについての様々な意見交換を行う場として、市民塾を行っています。



第3回市民塾

テーマ一覧

- 第1回「市民税の1%を応援したいINPOに」
- 第2回「草加市の川(古綾瀬川)のダイオキシン類汚染」
- 第3回「発達障害のある子どもの理解と支援」
- 第4回「どうする?どうなる?アスベスト」

第3回「発達障害のある子どもの理解と支援」より

レストランで突然走り出したり、電車の中で、大きな声を出している子どもを見かけたことは、ありますか? 文部科学省の調査では、なんらかの軽度発達障害があり、教育的配慮が必要な子どもは、通常学級の児童生徒の6.3%もいる事が示されました。そのような子どもとその家族に必要なのは、周りの理解、そして適切な支援です。筑波大学心身障害学系教授宮本信也先生をお招きし、講義をして頂きました。現場で子ども達に関わっていらっしゃる方々や、発達障害のある子どもをもつ親御さんたちの多数の参加を頂きました。

議会報告・出前報告

原則として、毎議会終了後、議会報告会を開いています。県行政というと、多くの方にとっては普段の生活の中ではあまり身近に感じられないものかもしれませんが、ビデオや資料をもちいながら、できる限り丁寧な報告を心がけています。お二人以上であれば、指定の場所に出向いて行って報告会を行うこともしていきます。是非、お気軽にお声をかけて下さい。

子どもツアー

県民の日(11月14日)に、県内の企業や施設を訪問する子どもツアーを実施しました。「彩の国ビジュアルプラザ」「消しゴム工場」「防災学習センター」などを訪問し、学習と遊びをとりまぜて、楽しい一日になりました。



草加のまちづくり

草加市では市民の活動が盛んです。各地域でのまちづくりや、市民活動、スポーツや文化活動など、市民の元気が草加の元気です。特に今年は、日光街道の宿場としての草加が、開宿着手400年を迎える節目の年でもあります。2003年より、「今様・草加宿」として、地域再生事業が行われています。世代を超えて、伝統と文化の上に、現代の草加のまちを、市民と行政が共に築いていく取組みをしています。



昨年秋の宿場祭りで、よさこい踊りを踊る

助成金情報 知って得する県の助成

県民が申請することのできる、県の助成金の一部をご紹介します。

◎この他の助成や民間の助成金については、山川百合子事務所までお問い合わせ下さい。

NPOスタートダッシュ事業、ステップアップ事業

スタートダッシュ事業：NPO法人を目指す団体や、設立して日の浅いNPO法人対象。助成限度額30万円(20団体程度)。

ステップアップ事業：NPO活動をこれから本格的に展開しようとする若いNPO法人対象。補助率は4/5で、上限は100万円(6団体程度)。

それぞれ、5月下旬～6月中旬に募集予定

担当：埼玉県NPO活動推進課 048-830-2839

<http://www.saitamaken-npo.net/database/>

市民活動サポート事業・福祉ボランティア体験学習公募事業

市民活動サポート事業：自治会、ボランティアグループやNPO法人などが行う地域福祉活動等が対象。補助率は2/3で、限度額は、県域事業100万円(4団体程度) 地域事業30万円(20団体程度)。

福祉ボランティア体験学習公募事業：自治会やPTA、学校内のクラブ、ボランティアグループやNPO法人が対象。補助率は2/3で、限度額は20万円(10団体程度)。

それぞれ、4月28日(金)締め切り

担当：埼玉県福祉政策課 048-830-3223

<http://www.pref.saitama.lg.jp/A03/BA00/chouju/sirakobato2.htm>

文化振興基金助成事業

県内の文化団体が行う活動成果発表事業や、伝統文化の継承・保存、海外との文化交流等が対象。補助率は1/2以内で25万円が限度(52団体程度)。年4回募集。

担当：埼玉県文化振興課 048-830-2882

<http://www.pref.saitama.lg.jp/A02/BP00/kikin/a.htm>

県政調査費の使途公開について

昨年の「県政・県議会ほっとライン」で、県政調査費の公開についてご報告しました。県議会では、調査費の公開を含めた議会のあり方を検討する任意の委員会を立ち上げ、関係会派から代表を選出し、検討を進めてきました。しかしながら、県政調査費については17年度中に委員会としての結論がまとまらず、今年度に持ち越されることとなりました。

県政調査費は各会派に支給されています。毎月一人当たり50万円計算で、所属議員数をかけた合計額が各会派に支払われています。公金をどう使用したかを報告するのは当たり前のことで、民主党議員団では、議会として全会派一斉に公開をすべきであるとの一貫した考え方に立ち、議会に働きかけています。

県議会には様々な「議会改革」が必要です。情報公開をはじめとして、「あたりまえのこと」を行っていくために、県民の皆様にも関心を寄せていただきたいと思います。

山川百合子から

国会における民主党議員による「メール問題」質問めぐり、民主党は大きな失敗をしました。民主党にお寄せいただいているご期待を裏切るような結果になってしまったことに対し、非常に遺憾に思っています。地方の一議員として、深くお詫び致します。民主党に対する信頼回復のために、地域において日々努力して参りますので、宜しく願い申し上げます。

